

～罪を犯した人の社会復帰に力をお貸しく下さい～ 美祢保護区保護司会

1. 犯罪の現状

近年、犯罪や非行を行った人がようやく刑を終えたのに、出所後間もない時期に再び罪を犯してしまう人（再犯者）が増加し、大きな問題になっています。統計によると犯罪・非行を行った人の約3割が再犯者となっています。そして、この3割の再犯者によって犯罪全体の6割が引き起こされています。

また、再犯者で、再び刑務所へ際に入所することになった人の約7割は、犯行当時は無職でした。また、保護観察終了時に無職であった人の再犯率は、職に就いていた人に比べて5倍になっています。

これらのことから、私たちの周りから犯罪をなくすためには、罪を犯した人や非行に陥った人への就労支援が重要であることがわかります。

2. 再犯をさせないために

犯罪や非行などの過ちを犯した人が、再び、過ちを繰り返さないためには、まずは本人自身の社会復帰に対する強い決意と日々の着実な営みが必要なことはいうまでもありませんが、これらの人々の立ち直りを支えるためには、周囲の皆さんによる温かい理解と見守りや援助が必要となります。

美祢保護区保護司会としては、再犯防止の一つの方策として、山口保護観察所と連携して、犯罪や非行などの過ちを犯した人への就労支援を進めたいと考えています。

3. 市民の皆様へのお願い

(1) 雇用協力主の募集について

罪を犯したことを承知での上で就労させていただける事業者を探しています。情報等の提供をお願いします。

(2) 「山口県就労支援事業者機構」の会員の募集について

会員になるには下記の方法があります。

- ①事業主として直接雇用する
- ②会費を納めて協力する

※詳しいことを知りたい場合は、下記までご連絡ください。

問合せ先 地域福祉課 ☎0837(52)5228 (美祢保護区保護司会が対応します。)

俳句と短歌 HAIKU TO TANKA

<p>昔を忍ぶ思い出多し</p>	<p>亡き母の愛用したる鋏使い 今年は一万円を超えて上がると 確信の如くし念ふ日経平均 右手を痛めこうやくをはる もちつきのうすどりはりきり次の日に</p>	<p>【秋芳短歌会】 肉買いにゆく足取り軽く 誕生日吾の祝ひにステーキの 孫とおりたる石段行きぬ 淋しさに朝の散歩の道かえて メダカの世界ひそと浮遊す 青々と小さき藻の浮く水槽は</p>	<p>【美祢短歌会】 注連作りきりりと結ぶ大飾<small>おあなざり</small> 御降<small>あきがり</small>や穢<small>きた</small>れなき里煌<small>きら</small>めけり 【ホトトギス秋芳句会】 春恋しハイネの詩集また開く ふかき空梅満開の梅日和 【秋芳野火句会】 山風のやさしくなりて土筆坊<small>つくしぼう</small></p>	<p>【美東俳句会】 春を待つ背中のカバン入学児 エプロンを付ける癖つき冬至粥<small>とうじがゆ</small> 黙々と独り畑打ち土に問ふ 【美祢あさざり句会】 春を待つ背中のカバン入学児 エプロンを付ける癖つき冬至粥<small>とうじがゆ</small></p>	<p>【美祢つぼみ句会】 変わることに変えることなし去年今年<small>こぞことし</small> ろう梅や嬉しきこともある余生</p>										
上利 活枝	松原 正男	山崎 米子	西村 雪江	伊藤 和子	茶川 貞代	倉重 豊水	末永 よね子	阿野 恵子	上利 邦子	重富 八重	河崎 敏昭	池田 萼陽	山本 和美	末富 千恵子	広瀬 和男

()内は県下総数

データで見る美祢市

まちのうごき (平成27年2月1日)			
人口	26,550人	前月比	▲34人
男	12,450人	前月比	▲17人
女	14,100人	前月比	▲17人
世帯数	11,371世帯	前月比	▲17世帯

	人身事故			物損事故
	件数	死者	傷者	
1月中	7(509)	0(3)	7(634)	58(3084)
累計	7(509)	0(3)	7(634)	58(3084)
昨年対比	±0(▲58)	±0(±0)	▲1(▲90)	▲58(▲378)



自分ができる事に目を向けて

障害のある人が、「美祢市役所で働きたい!」と思える職場環境を目指して!!

ロゴデザイン：高橋紀之氏 【NO.2は1月号に掲載】

市役所の障害者雇用推進の一環として、昨年6月から2人を雇用し市役所内で書類の作成や庁用車の運行管理業務などを行っていただいております。その職員へインタビューを行うと共に、この取り組みの広報活動をお願いしている高橋紀之さんより障害者の視点からのご意見を添えて紹介します。

それぞれが、「自分ができる事に目を向けて」 共生社会の実現を図ります。

受傷後就労にあたり身に付けた事はありますか？

- ★パソコン教室に通いスキルアップを図りました
- ★自動車二種免許や船舶免許を取得しました

就労前後で自分が変わった事、変わった事がありますか？

- ★市民の皆様に関わりたい想いと社会で働く充実感を得ました。また、新たに挑戦する業務により見聞及び交友関係が広がりました
- ★自分の出来ることは行う意識が強くなり、自信を持てるようになりました

就労前に希望や不安がありましたか？

- ★社会で働ける喜びを感じたが、コミュニケーションがとれるか、また、業務が出来るかの不安がありました
- ★チャレンジする気持ちがあり不安はありませんでした

障害がある者として改善や配慮してほしい事がありますか？

- ★これまでと同様に、障害の有無にかかわらず心のバリアを解いた対応をお願いします

【高橋さんより】

「就労前は期待が大きく不安を感じない」これは稀かもしれません。障がいのあるなしに関わらず多くの人は少なからず不安があるが、障がいがあるからこそ、その不安も増大する部分があります。実際に働くうえで、物理的及び心のバリアをどのように解決していくかという問題です。この度は、「改善や配慮してほしい事」を見ると物理的なバリアは十分に配慮されている事がわかります。その反面、心のバリアの観点では少し不安もあるようです。これは当たり前前で、理解を広め深め、常に改善し続けていかなければいけない事なのです。

受傷後でもあきらめずに何かをしたい！社会のために役立ちたい！そんな想いが自らのスキルアップを図る原動力となり、その向上心こそが就労へ結びつくきっかけの一つになります。

また、自分の為に働く事はもちろんですが、人の役に立っていると実感が持てる事で、人は幸福度を増し、同時に自信をもつ事ができ、交友関係も築きやすくなってきます。

この事で社会と繋がり、障がいについての理解を広め深めて行く事ができるのです。

市役所の取り組みとして、障がい者も障がいがあるからと「甘える」のではなく、雇用側も、「障がい者だから出来ないだろう」「このくらいでいいだろう」と妥協するのではなく、双方がコミュニケーションを取りながらお互いの創意工夫により、良い環境づくりを行っています。これが「働きやすい職場環境の早期構築と定着に努める」ことです。



高橋紀之（美祢市西厚保町）

障害があり就労をされていない人へ市役所で就労されている2人からのメッセージです。

★あせらず・あきらめず1日1日の積み重ねを大切にしてほしい。

★家に閉じこもらず、多くの人と接していくことが大切です。